

令和2年度一般会計予算討論

防災拠点施設は必要か

反対討論



小国 浩文 議員

予算の削減を

防災拠点施設（防災センター）の建設に反対します。その理由としては、当町において2年続いて豪雨災害が起き、町の財政もたいへん厳しい状況の中、たとえ国の補助金があっても、多くの町民が望んでいない事業に約3億円の多額の予算を投じて行う時期ではないと考えます。また、防災センターが必要だと考えるのであれば、リスク管理上においても活断層のおそれがある役場庁舎の近くではなく、長沢の学習センターや富田の旧小学校など空き校舎を有効活用し、予算の軽減を図るべきだと思います。昨年9月定例会の決算審査結果報告において、代表監査委員から町の財政を危惧する意見書を読んだことを重く受け止め反対の意見とします。

賛成討論

災害に備える予算

私は福祉避難所及び防災拠点施設に対しまして、巨額の事業費をいろいろな視点から国の補助対象に結び付け、町の支出を極限まで減らした経緯や、老朽化している役場第二庁舎を国道拡張整備に併せて解体し、駐車場にすることに加え、9年前の東日本大震災や平成30年の豪雨被害など大災害や異常気象が頻発に発生する中で、町民を守る防災拠点の司令塔は必要だと感じます。町民は合併せずに町単独の道を選択した訳であり、財政も決して豊かではありませんが、過去の定例会での案件として議決した訳ですので、令和2年度当初予算に賛成致します。



叶内 昌樹 議員

町の将来を見据えた予算

都市防災施設整備事業は、平成30年8月の豪雨災害の教訓を踏まえての案件で、防災拠点施設が約3億円、福祉避難施設が約11億3千万円で、合わせて14億3千万円の工事費になるが、国庫補助金が7億円、地方交付税で約5億円が措置されるなどして、約12億円の国の支援を受けられ、実質的な町の負担額は約2億3千万円になります。仮にこの機会を逃してしまい、後になり、やはり施設が必要になったからと言っても、国からの支援を受けられる保証はないのです。町民の安全安心、福祉向上と町の将来に向けた実効性のある予算だと考え賛成します。



伊藤 欽一 議員

反対した議員

小国 浩文 議員
佐藤 広幸 議員

賛成した議員

叶内 昌樹 議員
荒澤 広光 議員
伊藤 欽一 議員
石山 和春 議員
奥山 謙三 議員
叶内 富夫 議員
斎藤 好彦 議員

(議席番号順) ※議長を除く

賛成多数により、令和2年度一般会計予算は可決されました。

舟形町副町長の選任に同意



菅原 正春 氏
(山形市)

任期は
令和2年4月1日より就任

人権擁護委員の推薦に同意



伊藤美喜子 氏
(内山)

任期は
令和2年7月1日より
令和5年6月30日まで

教育委員会教育長の任命に同意



伊藤 幸一 氏
(西堀)

任期は
令和2年4月1日より
令和5年3月31日まで

農業委員会委員の任命に同意



沼澤 靖浩 氏
(舟形第4)

任期は
令和2年7月1日より
令和5年6月30日まで

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意



高橋 忠昭 氏
(富田第2)

任期は
令和2年4月15日より
令和5年4月14日まで

氏名	地区
伊藤 義範	野
大場 清志	長沢第1
叶内 公直	長沢第2
沼沢 弘明	舟形第1
吉田 明美	舟形第3
高橋 毅	紫山
叶内 栄一	長者原
早坂 守	福寿野
進藤 節子	富田第2
佐藤 司	新堀

任期は令和2年4月1日より令和5年3月31日まで

先進的な議会活動

議会運営委員会視察研修

1. 期 日 令和2年2月17日(月) 18日(火)
 2. 場 所 長野県軽井沢町議会
 3. 調査内容(現地視察)
 - (1) 議会改革の取り組み
 - (2) 通年制議会の導入について
 - (3) 委員会活動活性化の取り組みと町執行部への政策提言について
 - (4) 災害時の議会の対応について
 - (5) 所 感
- 議会活動も活発に行われており、議会改革や活性化等の先進的な取り組みも多くされ、議会も相応の対応をしていると感じた。



軽井沢町議会議長と議場にて